

## 認知症カフェスタッフ自己評価票（DCSA）利用の手引き

DCSA は、以下の 4 つの要素 20 項目からなる自己評価票です。

- ① 認知症の人とのパートナー力
- ② 認知症の人の家族に寄り添う力
- ③ カフェスタッフとして有用な認知症についての一般的知識
- ④ 認知症カフェスタッフとして押さえておきたいこと

### 【使用方法】

自らが 20 項目について項目ごとに 0 から 3 点で採点を行います。それぞれの項目の意味合いについては、解説資料を参考にして下さい。

### 【使用の用途】

認知症カフェスタッフや認知症サポーター講座受講者などが、個人個人で自己評価点をつけ、以下のような用途に用いることができます。

- ① 自分自身のできること・できないことを振り返ってみる
- ② 認知症カフェスタッフになったときと、スタッフになったのち 6 ヶ月など時間が経過した後に見直す（学びの状況を知る）
- ③ 認知症サポーター養成講座後などに認知症カフェやチームオレンジなどの活動に参加する場合の研修の手がかりにする
- ④ 個人個人だけでなく、認知症カフェに集まったスタッフ全員の得点を平均することで、カフェ全体の総合力を見極めることもできます

### 【大事なポイント】

自己評価点をつける際、20 項目すべてが 0 点であっても恥ずかしくはありません。できるところから、3 ヶ月、6 ヶ月など時間をかけて 1 点ずつでも向上するようにしましょう。

スタッフ全員もしくはコアメンバーの自己評価点の平均が、20 項目全てで 2 点程度もしくはそれ以上になることをめざして下さい。

**【その他】**

DCSA は評価票としての信頼性・妥当性などの検証が済み、国際雑誌 *Dementia and Geriatric Cognitive Disorders* に掲載予定です（2020年2月3日現在）。日本語版 DCSA およびその解説資料やこの利用の手引きを使用いただく分には特に許諾を得ていただく必要はありませんが、雑誌など出版物への転載やホームページなどでの掲載はお控え下さい。